

『自己改革取組宣言』

これまでも、これからも、地域とともに JAいずみのは総合事業を展開します

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを生かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人一人が力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、さまざまな事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などのさまざまな事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えています。

主な取り組みを次の3点により紹介します。（営農指導事業 予算額 33,529 千円）

1. 新たな担い手の確保・育成支援【事業年度目標：新規就農者3名／新規販売農家15名】
農業関連講習会の充実、自給的農家に対する訪問活動（TAC）を強化し、販売農家へのランクアップ支援や就農しやすい環境作りを構築します。
2. 農業生産力の維持発展に向けたサポート
生産出荷の合理化、効率化をすすめるために、農業用機械レンタル事業等の普及拡大に努め、生産力の持続的拡大を図ります。
3. 販売チャネルの拡大と新たな加工品の開発によるブランド力向上
マーケットインに基づく契約販売方法や一部品目の愛彩ランドへの周年出荷体制を確立するなど、さまざまな販売方法を検討し、実施します。また、新たな加工品開発に取り組み、農産物直売所（愛彩ランド）で販売することでブランド力を向上し、農家手取りの増加に寄与します。